

今後の協議会について

1. 協議会で進めていく議題

◆審議会と協議会の会議体の内容の見直しや関係性の整理

廃棄物行政に関しては審議会と協議会の組織があり、同様の議題を扱っているという課題があります。審議会は諮問機関としての重要性があるとともに、協議会は多様な参加者による多角的な視点による議論が行えるといった利点があることから、それぞれが扱う議題や関係性を整理していきたいと思えます。

◆改定プランに記載された事項

協議会で検討していくとした内容について議題として扱っていきます。

・4.1.2.⑧：生ごみの更なる減量に向けた取り組み

生ごみの更なる減量に向けた取り組みを検討していきます。

・4.2.2.③：地域内での生ごみ循環の促進

生ごみリサイクルサポーターの役割、位置づけ等を整理するとともに、広く市民に浸透するような仕組みづくりを検討していきます。（生ごみリサイクルサポーター連絡会は協議会のプロジェクトチームに位置付けられております。）

・4.3.1.③：情報交換の活性化

市民・事業者・市がごみ減量・リサイクル等に関する新たな取り組みを行った場合等、タイムリーに情報交換を行っていきます。（その際は発表等をお願いすることがあります。）

◆その他、ごみ減量又はリサイクルに関すること

新たに協議会で取り上げた方がよいテーマがあれば、議論していく。

こういうテーマを議論した方が良いというものがあれば、アンケートを取りますので記載願います。

2. 会議の進め方

◆議論しやすい仕組み

- ・ワールドカフェ方式等の少数での話し合いをし、活発な情報交換を行う。

ワールドカフェとはカフェでくつろいでいるようなリラックスした雰囲気のもとに行われる会議。参加者は4~5人ずつに分かれ、テーブルごとに対話。一定時間が過ぎれば、テーブルのメンバーを入れ替え対話する。

- ・相手の意見を否定しない自由な発言（正解を求めない）

お互いの意見を尊重する。

- ・協働できそうなことを探す。

全部が一致しなくても一部でも重なることを協働していく。（無理しない）

◆その他、議論しやすい方法

アンケートを取りますので、こういう方法が良いというのであればご記入ください。

後日、アンケート調査を行いますので、その際はご協力お願いいたします。（4月頃予定）